

# 西宮市財政事情

平成29年度上半期

平成29年9月1日現在

人 口	488,511人
世帯数	213,767世帯
面 積	100.18 km <sup>2</sup>

地方自治法第243条の3第1項の規定に基づく「財政事情の公表に関する条例」の定めるところにより、平成29年度上半期（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の本市の財政事情及び平成28年度の決算概要を次のとおり公表します。

## 1. 平成29年度上半期の状況

### (1) 予算額、収入及び支出の状況

平成29年9月30日現在における予算現額、収入及び支出の状況は、第1表及び第2表のとおりです。

予算現額では、一般会計は1,791億5,302万円、特別会計は948億774万円、両会計の合計額は2,739億6,076万円となっており、当初予算と比べ26億1,896万円の増となっていますが、この中には、前年度からの繰越分16億1,859万円が含まれているため、実質的には10億37万円を増額補正したことになります。

一般会計における歳出の補正の主なものとしては、民生費4億73万円、土木費2億5,491万円、総務費2億159万円、衛生費4,341万円などを増額しています。歳入では、繰越金8億3,851万円、県支出金3億452万円などを増額、国庫支出金2億7,645万円を減額しています。一方、特別会計では国民健康保険6,114万円、介護保険2,792万円を増額しています。

予算に対する収入及び支出の状況については、一般会計の収入では、市税が494億1,871万円（執行率57.7%）、国庫支出金が134億2,587万円（執行率41.9%）、地方消費税交付金が42億8,012万円（執行率58.0%）、地方交付税が32億6,760万円（執行率84.1%）などとなっています。なお、繰越金は前年度からの決算剰余金を収入したため、28億2,122万円（執行率236.1%）の収入となっています。また、支出では、民生費が304億8,663万円（執行率36.7%）、教育費が79億6,241万円（執行率39.5%）、土木費が72億8,021万円（執行率38.2%）などとなっています。

特別会計の状況については、国民健康保険が収入185億1,275万円（執行率33.9%）・支出263億6,080万円（執行率48.3%）、介護保険が収入126億2,913万円（執行率40.9%）・支出127億2,927万円（執行率41.2%）、後期高齢者医療事業が収入25億9,964万円（執行率38.5%）・支出23億5,293万円（執行率34.8%）などとなっています。

### (2) 公営企業の業務状況

病院事業、水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の業務状況は、別途公表のとおりです。

### (3) 市債、公有財産及び一時借入金等の状況

市債、公有財産及び一時借入金等の状況は、第3表のとおりです。

## 2. 平成28年度決算概要について

平成28年度決算概要は、一般会計では、歳入が1,696億7,324万円に対し、歳出は1,668億5,202万円で、差し引き28億2,122万円の剰余となりましたが、繰越事業費16億1,859万円の充当財源として、3億5,649万円を翌年度に繰越しているため、実質的には24億6,474万円の黒字となっています。(第4表参照)

歳入の主なものは、市税858億9,323万円(構成率50.6%)、国庫支出金295億8,551万円(構成率17.4%)、市債102億9,720万円(構成率6.1%)です。歳出の主なものは、民生費745億4,853万円(構成率44.7%)、教育費182億7,045万円(構成率11.0%)、公債費176億9,678万円(構成率10.6%)です。(第5表参照)

一般会計の歳出を性質別に見ると、人件費などの消費的経費が1,226億6,251万円(構成率73.5%)、学校や市営住宅などの公共施設の整備・改修である投資的経費が110億4,137万円(構成率6.6%)、その他経費が331億4,814万円(構成率19.9%)となっています。(第7表参照)

一般会計の歳出決算額を市民一人あたりに換算すると、34万1,854円となります。また、同様に市税収入を市民一人あたりに換算すると、17万5,982円となります。(第8表参照)

次に特別会計については、11会計合計で、歳入906億6,212万円に対し、歳出894億3,123万円で、差し引き12億3,089万円の黒字となっています。(第4表参照)

平成28年度は、「持続可能な文教住宅都市」の実現に向けて、西宮のブランド価値を高め、魅力を伝えるための情報発信を強化する事業や子育て世帯が住みやすいまちであるための施策、防災や地域の安全を守るための事業、学校施設の環境改善を始めとする公共施設マネジメントの推進などを実施しました。

一般会計の歳入では、根幹である市税収入は、個人所得の増や家屋の新增築などにより増となりましたが、市税等の増収により地方交付税は減となりました。このほか、投資的経費の大幅な減に伴い市債が減となり、総額で前年度に比べ37億8,558万円の減額となりました。

歳出では、西部総合処理センター基幹設備更新工事費の増額などにより衛生費が増となり、障害者介護給付費等の増額や年金生活者等支援臨時福祉給付金の新設などにより民生費が増となった一方で、高木北小学校など小学校の新設・増改築事業費の減により教育費が大幅に減となったため、総額で前年度に比べ38億6,323万円の減額となりました。

地方公共団体の財政の健全性に関する指標である健全化判断比率は、西宮市は国の定める基準を越えておらず年々改善されていますが、財政構造の弾力性を判断する指標である経常収支比率は、地方交付税などの歳入の大幅な減額により7年ぶりに悪化しています。

今後は、学校をはじめとした老朽化が進んでいる公共施設の改修、改築等に要する経費の増大による多額の市債発行が見込まれるため、健全化指標の改善は足踏みすると見込んでいます。また、引き続き、介護や子育て支援などの社会保障関係経費の増大も見込まれますが、これらに必要な財源については、景気の動向や地方財政をとりまく状況が不透明なため、大幅な増額確保は見込み難い状況です。そのため、遊休地の有効活用や収納対策の強化、公共施設マネジメントの推進、内部管理経費の削減などの取り組みを進めているところです。今後も常に情勢の変化に注意を払いながら中長期的な視野で検証を行い、安定的な財政運営に努めます。

第1表

## 平成29年度 一般会計予算とその執行状況

平成29年9月30日現在

(単位:円)

科目	歳入				収入済額 B	執行率 B/A (%)
	予算額			構成率 (%)		
	当初予算額	補正額	予算現額 A			
市税	85,642,905,000	0	85,642,905,000	47.8	49,418,711,724	57.7
地方譲与税	785,201,000	0	785,201,000	0.4	236,213,327	30.1
利子割交付金	115,000,000	0	115,000,000	0.1	75,398,000	65.6
配当割交付金	610,000,000	0	610,000,000	0.3	182,468,000	29.9
株式等譲渡所得割 交付金	384,000,000	0	384,000,000	0.3	0	0.0
地方消費税 交付金	7,376,000,000	0	7,376,000,000	4.1	4,280,115,000	58.0
ゴルフ場利用税 交付金	133,000,000	0	133,000,000	0.1	55,016,556	41.4
自動車取得税 交付金	273,000,000	0	273,000,000	0.2	104,267,000	38.2
地方特例交付金	272,000,000	0	272,000,000	0.1	299,154,000	110.0
地方交付税	3,886,000,000	0	3,886,000,000	2.2	3,267,601,000	84.1
交通安全対策 特別交付金	75,000,000	0	75,000,000	0.1	34,646,000	46.2
分担金及び 負担金	2,218,649,000	0	2,218,649,000	1.2	904,781,650	40.8
使用料及び 手数料	6,534,903,000	0	6,534,903,000	3.6	3,047,823,769	46.6
国庫支出金	31,861,730,000	△ 276,449,000	32,072,282,000	17.9	13,425,874,625	41.9
県支出金	10,414,660,000	304,524,000	10,719,184,000	6.0	1,055,483,753	9.8
財産収入	984,028,000	14,000	984,042,000	0.5	218,891,424	22.2
寄附金	22,451,000	5,566,000	28,017,000	0.0	38,191,755	136.3
繰入金	7,051,481,000	0	7,051,481,000	3.9	57,192,092	0.8
繰越金	1,000	838,507,000	1,194,995,000	0.7	2,821,223,562	236.1
諸収入	7,091,607,000	10,653,000	7,102,260,000	4.0	1,393,208,624	19.6
市債	10,891,500,000	28,500,000	11,695,100,000	6.5	600,300,000	5.1
歳入合計	176,623,116,000	911,315,000	179,153,019,000	100.0	81,516,561,861	45.5

(注1) 上段の数字は、前年度からの繰越事業費の再掲

(注2) 歳出の補正額は、予備費の充用を含む

科目	歳出				支出済額 D	執行率 D/C (%)
	予算額			構成率 (%)		
	当初予算額	補正額	予算現額 C			
議会費	914,484,000	0	914,484,000	0.5	463,735,743	50.7
総務費	16,403,100,000	201,585,000	16,641,199,000	9.3	6,451,344,991	38.8
民生費	82,195,080,000	400,731,000	83,005,412,000	46.3	30,486,634,774	36.7
衛生費	15,958,083,000	43,413,000	16,001,496,000	9.0	5,927,891,777	37.0
労働費	282,313,000	0	282,313,000	0.2	81,670,618	28.9
農林水産費	170,310,000	0	170,310,000	0.1	57,090,470	33.5
商工費	1,029,213,000	0	1,029,213,000	0.6	397,419,148	38.6
土木費	18,308,179,000	254,910,000	19,053,245,000	10.6	7,280,208,128	38.2
消防費	6,320,530,000	153,000	6,320,683,000	3.5	2,525,106,453	39.9
教育費	19,475,311,000	10,676,000	20,168,304,000	11.3	7,962,407,418	39.5
災害復旧費	2,000,000	0	2,000,000	0.0	0	0.0
公債費	15,500,059,000	0	15,500,059,000	8.6	7,074,565,462	45.6
諸支出金	14,454,000	0	14,454,000	0.0	0	0.0
予備費	50,000,000	△ 153,000	49,847,000	0.0	0	0.0
歳出合計	176,623,116,000	911,315,000	179,153,019,000	100.0	68,708,074,982	38.4

第2表

## 平成29年度 特別会計予算とその執行状況

平成29年9月30日現在 (単位:円)

会 計	予 算 額			収入済額 B	執行率 B/A (%)	支出済額 C	執行率 C/A (%)
	当初予算額	補正額	予算現額 A				
国民健康保険	54,489,976,000	61,139,000	54,551,115,000	18,512,754,967	33.9	26,360,797,016	48.3
食肉センター	333,265,000	0	333,265,000	58,384,555	17.5	172,255,191	51.7
農業共済事業	14,337,000	0	14,337,000	884,479	6.2	4,816,115	33.6
区画整理清算費	390,000	0	390,000	243,057	62.3	0	0.0
中小企業勤労者福祉共済事業	131,489,000	0	131,489,000	36,020,492	27.4	55,935,604	42.5
公共用地買収事業	69,081,000	0	69,081,000	20,078,940	29.1	2,887,908	4.2
介護保険	30,858,894,000	27,918,000	30,886,812,000	12,629,134,574	40.9	12,729,265,371	41.2
後期高齢者医療事業	6,754,526,000	0	6,754,526,000	2,599,641,303	38.5	2,352,927,531	34.8
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	40,176,000	0	40,176,000	32,828,300	81.7	12,124,204	30.2
鳴尾外財産区	24,649,000	0	24,649,000	24,647,970	100.0	21,135,010	85.7
集合支払費	2,001,900,000	0	2,001,900,000	560,258,048	28.0	771,826,282	38.6
特別会計 合計	94,718,683,000	89,057,000	94,807,740,000	34,474,876,685	36.4	42,483,970,232	44.8

第3表

## 市債、公有財産及び一時借入金等の状況

平成29年9月30日現在

## 市債の現在高

区 分		金 額 (円)
一般会計		139,955,922,614
特別会計		694,015,689
内 訳	食肉センター	363,983,859
	公共用地買収事業	273,000,000
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	57,031,830
合 計		140,649,938,303

## 公有財産の状況

区 分		数 量 (㎡)	評価額 (千円)	構成率 (%)
行政 財産	土地	5,179,023.28	514,732,841	56.7
	建 物	1,544,818.58	304,422,477	33.5
	計	6,723,841.86	819,155,318	90.2
普通 財産	土地	4,410,403.60	64,575,428	7.1
	建 物	41,444.35	8,604,842	0.9
	計	4,451,847.95	73,180,270	8.0
有価証券・その他			16,063,430	1.8
合 計	土地	9,589,426.88	579,308,269	63.8
	建 物	1,586,262.93	313,027,319	34.4
	有価証券・その他		16,063,430	1.8
合 計		11,175,689.81	908,399,018	100.0

## 一時借入金等の状況

(単位:千円)

借入金残額	0
-------	---

第4表

## 平成28年度 決算総括表

(単位:円)

会 計	区 分	決 算 額
一般会計	歳入総額	169,673,244,788
	歳出総額	166,852,021,226
	歳入歳出差引額	2,821,223,562
	翌年度へ繰越すべき財源	356,487,000
	実質収支	2,464,736,562
特別会計	歳入総額	90,662,120,272
	歳出総額	89,431,231,493
	歳入歳出差引額	1,230,888,779
	翌年度へ繰越すべき財源	0
	実質収支	1,230,888,779
合 計	歳入総額	260,335,365,060
	歳出総額	256,283,252,719
	歳入歳出差引額	4,052,112,341
	翌年度へ繰越すべき財源	356,487,000
	実質収支	3,695,625,341





第6表

## 平成28年度 特別会計決算額

(単位:円)

会 計	予算現額 A	歳 入		歳 出	
		決算額 B	収入率 B/A (%)	決算額 C	支出率 C/A (%)
国民健康保険	54,660,452,000	51,885,688,677	94.9	51,492,737,066	94.2
食肉センター	386,941,000	379,563,514	98.1	374,571,528	96.8
農業共済事業	13,719,000	10,873,847	79.3	10,772,621	78.5
区画整理清算費	499,000	496,806	99.6	496,806	99.6
中小企業勤労者福祉共済事業	137,596,000	136,696,664	99.3	127,766,876	92.9
公共用地買収事業	96,795,000	91,727,455	94.8	91,727,455	94.8
介護保険	30,139,346,000	29,680,014,645	98.5	29,105,436,768	96.6
後期高齢者医療事業	6,578,651,000	6,684,498,291	101.6	6,461,762,511	98.2
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	35,564,000	38,759,885	109.0	12,159,374	34.2
鳴尾外財産区	24,649,000	24,647,970	100.0	24,647,970	100.0
集合支払費	2,087,995,000	1,729,152,518	82.8	1,729,152,518	82.8
特別会計 合計	94,162,207,000	90,662,120,272	96.3	89,431,231,493	95.0

第7表

## 平成28年度 一般会計・特別会計 歳出決算額(性質別)

(単位:円)

区 分		一般会計	構成率 (%)	特別会計	構成率 (%)	合 計	構成率 (%)
消費の経費		122,662,507,036	73.5	88,829,007,046	99.3	211,491,514,082	82.5
内 訳	人件費	33,427,615,981	20.0	925,578,507	1.1	34,353,194,488	13.4
	物件費	23,849,085,716	14.3	3,600,824,692	4.0	27,449,910,408	10.7
	維持補修費	3,003,440,555	1.8	16,368,480	0.0	3,019,809,035	1.2
	扶助費	48,103,567,594	28.8	6,402,863	0.0	48,109,970,457	18.8
	補助費等	14,278,797,190	8.6	84,279,832,504	94.2	98,558,629,694	38.4
投資の経費		11,041,369,318	6.6	66,122,094	0.1	11,107,491,412	4.4
内 訳	普通建設事業費	11,041,369,318	6.6	66,122,094	0.1	11,107,491,412	4.4
	補助事業費	6,055,940,257	3.6	0	0.0	6,055,940,257	2.4
	単独事業費	4,985,429,061	3.0	66,122,094	0.1	5,051,551,155	2.0
	災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	失業対策事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
公債費		17,696,784,637	10.6	138,576,663	0.2	17,835,361,300	6.9
積立金		2,271,716,706	1.4	393,546,384	0.4	2,665,263,090	1.0
投資及び出資金		411,649,823	0.2	0	0.0	411,649,823	0.2
貸付金		2,247,828,795	1.4	3,482,500	0.0	2,251,311,295	0.9
繰出金		10,520,164,911	6.3	496,806	0.0	10,520,661,717	4.1
前年度繰上充用金		0	0.0	0	0.0	0	0.0
合 計		166,852,021,226	100.0	89,431,231,493	100.0	256,283,252,719	100.0

第8表

## 平成28年度 一般会計決算 市民一人あたりの歳出額・税負担額

人口 488,080 人  
世帯数 212,970 世帯 (平成29年3月31日現在)

## 一般会計 歳出決算

科目	決算額 (円)	市民一人 あたりの額 (円)	一世帯 あたりの額 (円)
合計	166,852,021,226	341,854	783,453
議会費	882,393,031	1,808	4,143
総務費	15,978,391,448	32,737	75,027
民生費	74,548,533,318	152,738	350,042
衛生費	15,796,913,424	32,365	74,174
労働費	243,186,626	498	1,142
農林水産費	194,252,604	398	912
商工費	911,513,025	1,868	4,280
土木費	17,145,615,658	35,129	80,507
消防費	5,169,952,958	10,593	24,276
教育費	18,270,454,538	37,433	85,789
災害復旧費	0	0	0
公債費	17,696,784,637	36,258	83,095
諸支出金	14,029,959	29	66

## 市税収入の決算額

区分	決算額 (円)	市民一人 あたりの額 (円)	一世帯 あたりの額 (円)
市税	85,893,228,760	175,982	403,311
うち個人市民税	38,436,415,012	78,750	180,478
固定資産税	31,761,331,283	65,074	149,135
都市計画税	7,456,897,976	15,278	35,014
市たばこ税	2,294,913,039	4,702	10,776
その他の市税	5,943,671,450	12,178	27,908

## 平成 29 年度上半期病院事業 業務状況報告

### 1. 病院事業の概況

#### 業務実績

当年度上半期における入院患者数は、延べ 25,372 人(1 日平均 138.6 人)、外来患者数は、延べ 56,129 人(1 日平均 452.7 人)となり、前年同期に比べ入院患者数においては、1,256 人増加(1 日平均 6.8 人増)し、外来患者数においては、1,739 人増加(1 日平均 10.5 人増)しました。

区 分		29 年度上半期	28 年度上半期	増 減	増 減 率
入院	延 患 者 数	25,372 人	24,116 人	1,256 人	5.2 %
	診 療 日 数	183 日	183 日	—	—
	1 日 平 均	138.6 人	131.8 人	6.8 人	5.2 %
外来	延 患 者 数	56,129 人	54,390 人	1,739 人	3.2 %
	診 療 日 数	124 日	123 日	1 日	0.8 %
	1 日 平 均	452.7 人	442.2 人	10.5 人	2.4 %

区 分		29 年度上半期	28 年度上半期	増 減	増 減 率
入院	収 益	1,303,244,350 円	1,266,120,493 円	37,123,857 円	2.9 %
	1 人 1 日平均	51,365 円	52,501 円	△ 1,136 円	△ 2.2 %
外来	収 益	732,948,819 円	686,392,372 円	46,556,447 円	6.8 %
	1 人 1 日平均	13,058 円	12,620 円	438 円	3.5 %

## 2. 経理の状況

平成 29 年度上半期における収益的収支の状況は、病院事業収益で一般会計からの繰入金 766,308,000 円を含めて 2,967,671,503 円となり、対する病院事業費用は、2,657,016,303 円で差引き 310,655,200 円の純利益となりました。

科目別に前年度同期と比較しますと、収益は、医業収益が 2,435,208,740 円となり、91,835,207 円の増加(3.9%増)、医業外収益が 532,150,123 円となり、15,114,738 円の増加(2.9%増)、特別利益が 312,640 円となり、519,036 円の減少(62.4%減)となりました。

収益合計は、前年度同期に比べ、106,430,909 円の増加(3.7%増)となりました。

収益の主な増減の内容は、次のとおりです。

医業収益では、入院収益において、1人1日平均診療単価が 1,136 円減少(2.2%減)しましたが、延患者数が 1,256 人増加(5.2%増)したことにより 37,123,857 円の増加(2.9%増)となりました。

一方、外来収益においては、1人1日平均診療単価が 438 円増加(3.5%増)し、延患者数においても 1,739 人増加(3.2%増)したことにより 46,556,447 円の増加(6.8%増)となりました。

医業外収益では、一般会計補助金及び負担金が 15,716,000 円の増加(3.1%増)、雑収益が 15,100 円(100.0%増)その他医業外収益が 616,362 円の減少(3.8%減)となっています。

特別利益では、過年度損益修正益が 519,036 円の減少(62.4%減)となりました。

対する費用は、医業費用が 2,600,959,732 円となり、123,732,304 円の増加(5.0%増)、医業外費用が 56,033,332 円となり、4,332,271 円の増加(8.4%増)、特別損失が 23,239 円となり、764,027 円の減少(97.0%減)となりました。

費用合計は、前年度同期に比べ、127,300,548 円の増加(5.0%増)となりました。

費用の主な増減の内容は、次のとおりです。

医業費用では、給与費が報酬の増加等により 22,405,111 円の増加(1.8%増)、材料費が薬品費の増加等により 25,265,058 円の増加(4.9%増)、経費が委託料の増加等により 14,977,855 円の増加(2.9%増)、減価償却費が 60,679,000 円の増加(37.5%増)、研究研修費が 405,280 円の増加(3.8%増)となっています。

医業外費用の増加は、長期前払消費税額償却が 10,510,500 円増加(103.8%増)したことなどにより増えます。

特別損失の減少は、その他特別損失が 750,000 円減少(100.0%減)したことなどにより増えます。

損益は、平成 29 年度上半期 310,655,200 円の純利益となりました。

資本的収支は、収入が 180,232,500 円、支出が 361,320,409 円となっています。

(注1) 減価償却費、消費税及び地方消費税、長期前払消費税額償却、繰延勘定償却、及び雑支出については、予算額の 1/2 を計上しています。

(注2) 消費税及び地方消費税については、期末一括税抜処理とするため、上半期分は税込額です。

収益的収入及び支出前年度比較

(単位：円)

科 目	29年度上半期	28年度上半期	増 減 額	増 減 率 %
<b>病院事業収益</b>	2,967,671,503	2,861,240,594	106,430,909	3.7
医業収益	2,435,208,740	2,343,373,533	91,835,207	3.9
入院収益	1,303,244,350	1,266,120,493	37,123,857	2.9
外来収益	732,948,819	686,392,372	46,556,447	6.8
その他医業収益	399,015,571	390,860,668	8,154,903	2.1
医業外収益	532,150,123	517,035,385	15,114,738	2.9
受取利息	0	0	0	—
国県補助金	0	0	0	—
一般会計負担金	357,656,000	344,868,000	12,788,000	3.7
一般会計補助金	159,075,000	156,147,000	2,928,000	1.9
雑収益	15,100	0	15,100	皆 増
その他医業外収益	15,404,023	16,020,385	-616,362	-3.8
特別利益	312,640	831,676	-519,036	-62.4
過年度損益修正益	312,640	831,676	-519,036	-62.4
その他特別利益	0	0	0	—
<b>病院事業費用</b>	2,657,016,303	2,529,715,755	127,300,548	5.0
医業費用	2,600,959,732	2,477,227,428	123,732,304	5.0
給与費	1,294,731,976	1,272,326,865	22,405,111	1.8
材料費	546,038,116	520,773,058	25,265,058	4.9
経 費	526,506,337	511,528,482	14,977,855	2.9
減価償却費	222,476,000	161,797,000	60,679,000	37.5
資産減耗費	0	0	0	—
研究研修費	11,207,303	10,802,023	405,280	3.8
医業外費用	56,033,332	51,701,061	4,332,271	8.4
支払利息及び企業債取扱諸費	3,652,832	7,268,561	-3,615,729	-49.7
消費税及び地方消費税	4,414,500	2,894,500	1,520,000	52.5
長期前払消費税額償却	20,640,000	10,129,500	10,510,500	103.8
繰延勘定償却	5,134,500	9,928,000	-4,793,500	-48.3
雑支出	22,191,500	21,480,500	711,000	3.3
特別損失	23,239	787,266	-764,027	-97.0
過年度損益修正損	23,239	37,266	-14,027	-37.6
その他特別損失	0	750,000	-750,000	皆 減
予備費	0	0	0	—
差 引 損 益	310,655,200	331,524,839	-20,869,639	—

(注1) 減価償却費、消費税及び地方消費税、長期前払消費税額償却、繰延勘定償却、及び雑支出については、予算額の1/2を計上しています。

(注2) 消費税及び地方消費税については、期末一括税抜処理とするため、上半期分は税込額です。

資本的収入及び支出前年度比較

(単位：円)

科 目	29年度上半期	28年度上半期	増 減 額	増 減 率 %
資本的収入	180,232,500	133,339,000	46,893,500	35.2
企業債	0	0	0	—
出資金	179,745,000	133,034,000	46,711,000	35.1
他会計からの長期借入金	0	0	0	—
貸付金返還金	487,500	305,000	182,500	59.8
資本的支出	361,320,409	140,822,165	220,498,244	156.6
建設改良費	180,324,824	4,711,958	175,612,866	3,727.0
企業債償還金	177,695,585	132,960,207	44,735,378	33.6
投資	3,300,000	3,150,000	150,000	4.8
差 引	-181,087,909	-7,483,165	-173,604,744	—



平成29年度上半期損益計算書 (H29. 4. 1～H29. 9. 30)

(単位：円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
<b>医業費用</b>	2,600,959,732	<b>医業収益</b>	2,435,208,740
給与費	1,294,731,976	入院収益	1,303,244,350
材料費	546,038,116	外来収益	732,948,819
経費	526,506,337	その他医業収益	399,015,571
減価償却費	222,476,000	<b>医業外収益</b>	532,150,123
資産減耗費	0	受取利息	0
研究研修費	11,207,303	国県補助金	0
<b>医業外費用</b>	56,033,332	一般会計負担金	357,656,000
支払利息及び企業債取扱諸費	3,652,832	一般会計補助金	159,075,000
消費税及び地方消費税	4,414,500	雑収益	15,100
長期前払消費税額償却	20,640,000	その他医業外収益	15,404,023
繰延勘定償却	5,134,500	<b>特別利益</b>	312,640
雑支出	22,191,500	過年度損益修正益	312,640
<b>特別損失</b>	23,239	その他特別利益	0
過年度損益修正損	23,239		
その他特別損失	0		
<b>当期純利益</b>	310,655,200		
合計	2,967,671,503	合計	2,967,671,503

(注1) 減価償却費、消費税及び地方消費税、長期前払消費税額償却、繰延勘定償却、及び雑支出については、予算額の1/2を計上しています。

(注2) 消費税及び地方消費税については、期末一括税抜処理とするため、上半期分は税込額です。

平成29年度上半期貸借対照表 (H29. 9. 30現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	5,208,935,938	固定負債	6,597,621,790
有形固定資産	5,034,051,645	他会計借入金	3,397,189,673
投資その他の資産	174,884,293	企業債	2,418,029,329
		引当金	782,402,788
流動資産	949,922,451		
現金預金	232,811,409	流動負債	912,826,131
未収金	616,299,483	一時借入金	380,000,000
貯蔵品	40,809,785	企業債	177,937,279
前払金	60,001,774	未払金	307,293,275
		その他流動負債	47,595,577
繰延勘定	5,133,558	繰延収益	103,211,496
退職給与金	5,133,558	長期前受金	445,224,473
		長期前受金収益化累計額	△ 342,012,977
		資本金	11,689,786,386
		剰余金	△ 13,139,453,856
		資本剰余金	25,600,000
		利益剰余金	△ 13,165,053,856
資 産 合 計	6,163,991,947	負債・資本合計	6,163,991,947

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 6,636,510,070 円

1. 平成 28 年度決算の状況

平成 28 年度事業における業務量及び経理状況は、次のとおりです。

(1) 業務状況

ア. 病床数	257 床
イ. 年間入院延患者数 (診療日数 365 日)	49,657 人
ウ. 年間外来延患者数 (診療日数 243 日)	109,200 人
エ. 1 日平均入院患者数	136.0 人
オ. 1 日平均外来患者数	449.4 人

## (2) 経理状況

## ①収益及び費用

(単位：円)

収 益 の 部		費 用 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>病院事業収益</b>	5,096,735,248	<b>病院事業費用</b>	5,821,458,432
医業収益	4,506,722,483	医業費用	5,613,638,559
入院収益	2,611,605,052	給与費	3,077,027,751
外来収益	1,383,757,785	材料費	1,035,865,830
その他医業収益	511,359,646	経 費	1,119,806,716
医業外収益	588,821,569	減価償却費	322,231,352
受取利息	0	資産減耗費	30,350,692
国県補助金	4,512,000	研究研修費	28,356,218
一般会計負担金	347,228,019	医業外費用	196,616,658
一般会計補助金	195,878,027	支払利息及び企業債取扱諸費	14,379,778
雑収益	41,386	長期前払消費税額償却	19,971,788
長期前受金戻入	6,543,378	繰延勘定償却	19,855,519
その他医業外収益	34,618,759	雑支出	142,409,573
特別利益	1,191,196	特別損失	11,203,215
過年度損益修正益	1,191,196	過年度損益修正損	9,553,215
その他特別利益	0	その他特別損失	1,650,000

## ②資本的収入及び支出

(単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資本的収入</b>	2,424,890,282	<b>資本的支出</b>	1,832,072,487
企業債	1,510,800,000	建設改良費	1,559,178,299
出資金	305,558,487	企業債償還金	266,144,188
補助金	8,964,000	投資	6,750,000
他計会計からの長期借入金	598,932,795		
貸付金返還金	635,000		

## 平成29年度上半期水道事業の業務の状況

### 1 事業の概況

#### (1) 給水

区 分	平成29年度上半期	平成28年度上半期	前年比
給 水 戸 数	231,704 戸	230,081 戸	100.7 %
給 水 装 置 数	111,174 個	109,516 個	101.5 %
給 水 人 口	488,286 人	489,057 人	99.8 %
配 水 量	(26,069,420) m <sup>3</sup>	(26,572,750) m <sup>3</sup>	99.2 %
	27,414,770 m <sup>3</sup>	27,627,360 m <sup>3</sup>	
一日最大配水量	(7月20日) 159,200 m <sup>3</sup>	(7月5日) 162,560 m <sup>3</sup>	97.9 %
一日最小配水量	(8月15日) 136,270 m <sup>3</sup>	(9月18日) 137,450 m <sup>3</sup>	99.1 %
一日平均配水量	149,807 m <sup>3</sup>	150,969 m <sup>3</sup>	99.2 %

注 配水量の（ ）は内数で、阪神水道企業団及び兵庫県企業庁からの受水量

9月末の給水戸数は231,704戸で、給水人口は488,286人です。

配水量については、前年同期に比べて、

一日最大配水量は、2.1% (3,360m<sup>3</sup>) 減の159,200m<sup>3</sup>で、

一日平均配水量は、0.8% (1,162m<sup>3</sup>) 減の149,807m<sup>3</sup>です。

## (2) 建設

配水施設費で施工している主な工事は、次のとおりです。

1. 湯ノ口配水所配水流量計取替工事
2. 芦部谷ポンプ場無停電電源装置更新工事
3. 宝生ヶ丘低区配水槽ほか水位計更新工事

また、市内各所の配水管2,889.3mを布設改良しました。

## (3) 受託工事

区 分	平成29年度上半期		平成28年度上半期		前年比
給水装置 修繕工事	831 件	宅地内 有料 166 無料 665	977 件	宅地内 有料 147 無料 830	85.1 %
給水本管 布設等	0 件	布設 撤去	0 件	布設 撤去	- %

## 2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が50億6,523万円(給水収益、その他の営業収益等)で、これに対する営業費用の43億1,908万円を差引くと7億4,615万円の営業利益となります。これに営業外収益(長期前受金戻入、分担金等)と営業外費用(支払利息、繰延勘定償却等)を加減すると8億9,538万円の経常利益となり、特別損失(固定資産売却損)を差引くと当期は8億9,142万円の純利益となります。

科 目	平成29年度上半期	平成28年度上半期	前年比(%)
<b>1 営業収益</b>	<b>5,065,230,125</b>	<b>4,781,865,165</b>	<b>105.9</b>
(1)給水収益	4,918,349,804	4,645,615,456	105.9
(2)受託工事収益	1,905,336	3,062,984	62.2
(3)その他の営業収益	144,974,985	133,186,725	108.9
<b>2 営業費用</b>	<b>4,319,084,731</b>	<b>4,349,135,925</b>	<b>99.3</b>
(1)原水及び浄水費	275,090,179	265,751,838	103.5
(2)受水費	1,909,838,855	1,936,907,103	98.6
(3)配水費	370,590,570	325,832,307	113.7
(4)給水費	163,445,896	176,185,529	92.8
(5)受託工事費	4,906,443	5,524,881	88.8
(6)業務費	235,136,567	221,873,871	106.0
(7)総係費	199,904,203	217,249,061	92.0
(8)減価償却費	1,091,623,500	1,113,052,000	98.1
(9)資産減耗費	67,675,500	86,100,000	78.6
(10)その他営業費用	873,018	659,335	132.4
<b>営業利益</b>	<b>746,145,394</b>	<b>432,729,240</b>	<b>172.4</b>
<b>3 営業外収益</b>	<b>432,163,342</b>	<b>417,492,778</b>	<b>103.5</b>
(1)受取利息	256,672	407,118	63.0
(2)分担金	92,539,800	64,302,660	143.9
(3)他会計補助金	0	0	—
(4)長期前受金戻入	332,774,500	341,754,000	97.4
(5)雑収益	6,592,370	11,029,000	59.8
<b>4 営業外費用</b>	<b>282,925,360</b>	<b>282,597,055</b>	<b>100.1</b>
(1)支払利息等	185,867,360	198,629,555	93.6
(2)繰延勘定償却	7,058,000	8,967,500	78.7
(3)消費税	90,000,000	75,000,000	120.0
<b>経常利益</b>	<b>895,383,376</b>	<b>567,624,963</b>	<b>157.7</b>
<b>5 特別利益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1)固定資産売却益	0	0	—
(2)過年度損益修正益	0	0	—
(3)その他特別利益	0	0	—
<b>6 特別損失</b>	<b>3,965,065</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1)固定資産売却損	3,965,065	0	—
(2)過年度損益修正損	0	0	—
(3)減損損失	0	0	—
<b>当期純利益</b>	<b>891,418,311</b>	<b>567,624,963</b>	<b>157.0</b>
<b>前期末未処分利益剰余金</b>	<b>2,144,038,685</b>	<b>1,285,454,361</b>	<b>166.8</b>
<b>利益剰余金処分額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>当期末未処分利益剰余金</b>	<b>3,035,456,996</b>	<b>1,853,079,324</b>	<b>163.8</b>

(注1) 長期前受金戻入、減価償却費、資産減耗費、繰延勘定償却、消費税は、年間予算額の1/2である。

(注2) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。

当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

### 水道事業貸借対照表

(平成29年9月30日現在)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
<b>固定資産</b>	<b>58,453,469,695</b>	<b>固定負債</b>	<b>20,460,474,744</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>57,716,540,306</b>	企業債	18,513,763,344
土地	8,371,105,438	リース債務	42,811,368
建物	2,108,938,228	退職給付引当金	1,786,176,332
構築物	40,644,633,825	修繕引当金	117,723,700
機械及び装置	5,190,451,461	<b>流動負債</b>	<b>1,196,287,279</b>
車両運搬具	12,589,016	企業債	565,515,052
船舶	224,543	リース債務	9,291,688
工具器具及び備品	27,761,182	未払金	162,812,217
リース資産	49,855,760	前受金	349,825,700
建設仮勘定	735,978,500	賞与引当金	0
工事勘定	575,002,353	一時借入金	0
<b>無形固定資産</b>	<b>735,243,104</b>	その他流動負債	108,842,622
<b>投資</b>	<b>1,686,285</b>	<b>繰延収益</b>	<b>16,158,703,157</b>
投資有価証券	0	長期前受金	35,991,447,665
出資金	1,686,285	長期前受金収益化累計額	△ 19,832,744,508
長期貸付金	0	<b>資本金</b>	<b>17,444,980,238</b>
定期預金	0	自己資本金	17,444,980,238
<b>流動資産</b>	<b>4,003,561,509</b>	<b>剰余金</b>	<b>7,212,769,786</b>
現金預金	2,701,789,970	<b>資本剰余金</b>	<b>3,543,396,586</b>
未収金	1,015,272,026	<b>利益剰余金</b>	<b>3,669,373,200</b>
貯蔵品	52,406,753	減債積立金	0
前払金	234,092,760	建設改良積立金	304,907,000
短期貸付金	0	当期末未処分利益剰余金	3,035,366,200
前払費用	0	その他未処分未処分利益剰余金変動額	329,100,000
その他流動資産	0	当年度未処分欠損金	0
<b>繰延勘定</b>	<b>16,184,000</b>		
<b>計</b>	<b>62,473,215,204</b>	<b>計</b>	<b>62,473,215,204</b>

(注1) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。



## 平成28年度水道事業の決算の状況

平成28年度末の給水人口は、48万7,967人で、前年度より169人(0.0%)増加しています。また、給水戸数は23万933戸で、前年度より1,429戸(0.6%)増加しました。年間の配水量は5,450万8,180立方メートルとなり、前年度より63万5,870立方メートル(1.2%)減少しました。

平成28年度の収入は、長期前受金戻入等で減となりましたが、給水収益の増等により、前年度に比べて、2億8,684万円の増となりました。支出は、委託料等で増となりましたが、工事請負費、受水費等の減により、前年度に比べて、1,910万円の減少となりました。

この結果、平成28年度の決算は、給水収益などの収益的収入総額101億5,346万円に対し、給水収益などをもって充てる経費である収益的支出総額は92億6,578万円で、差引8億8,768万円の純利益となりました。また、平成28年度末の累積黒字(未処分利益剰余金)は24億7,314万円となりました。

資本的収支においては、建設改良費、企業債償還金等の資本的支出は、28億8,707万円となりました。この財源として企業債、国庫補助金等の資本的収入7億8,572万円で賄い、なお不足する額21億135万円は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

## 平成29年度上半期工業用水道事業の業務の状況

### 1 事業の概況

#### (1) 給水

区分	平成29年度上半期	平成28年度上半期	前年比
給水契約事業所数	50 所	51 所	98.0 %
給水事業所数	50 所	50 所	100.0 %
給水施設数	51 箇所	51 箇所	100.0 %
一日契約水量	25,950 m <sup>3</sup>	25,974 m <sup>3</sup>	99.9 %
配水量	2,600,281 m <sup>3</sup>	2,523,460 m <sup>3</sup>	103.0 %
一日最大配水量	(9月29日) 17,262 m <sup>3</sup>	(7月12日) 22,171 m <sup>3</sup>	77.9 %
一日最小配水量	(5月5日) 10,000 m <sup>3</sup>	(8月14日) 9,675 m <sup>3</sup>	103.4 %
一日平均配水量	14,209 m <sup>3</sup>	13,789 m <sup>3</sup>	103.0 %

9月末の給水契約事業所数は前年同期より1所減の50所、給水事業所数は前年同期と同数の50所、給水施設数は前年同期と同数の51箇所、一日契約水量は前年同期より24m<sup>3</sup>減の25,950m<sup>3</sup>です。

配水量については、前年同期に比べ、

一日最大配水量は、22.1%(4,909m<sup>3</sup>)減の17,262m<sup>3</sup>で、

一日平均配水量は、3.0%(420m<sup>3</sup>)増の14,209m<sup>3</sup>です。

## 2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が2億2,830万円（給水収益）で、これに対する営業費用の1億9,855万円を差引くと2,975万円の営業利益となります。これに営業外収益（長期前受金戻入等）と営業外費用（支払利息等）を加減すると4,027万円の経常利益になり、当期は、4,027万円の純利益となります。

科目	平成29年度上半期	平成28年度上半期	前年比(%)
<b>1 営業収益</b>	<b>228,299,823</b>	<b>225,160,984</b>	<b>101.4</b>
(1)給水収益	228,299,823	225,160,984	101.4
(2)受託工事収益	0	0	—
(3)その他の営業収益	0	0	—
<b>2 営業費用</b>	<b>198,549,272</b>	<b>193,677,457</b>	<b>102.5</b>
(1)原水費	54,660,199	55,467,008	98.5
(2)浄水費	8,891,995	8,874,900	100.2
(3)配水費	49,543,943	42,201,861	117.4
(4)受託工事費	0	0	—
(5)業務費	3,205,354	3,278,995	97.8
(6)総係費	10,999,781	11,500,193	95.6
(7)減価償却費	69,198,000	71,804,500	96.4
(8)資産減耗費	2,050,000	550,000	372.7
(9)その他営業費用	0	0	—
<b>営業利益</b>	<b>29,750,551</b>	<b>31,483,527</b>	<b>94.5</b>
<b>3 営業外収益</b>	<b>22,584,240</b>	<b>16,232,782</b>	<b>139.1</b>
(1)受取利息	252,898	337,846	74.9
(2)分担金	6,372,172	0	—
(3)長期前受金戻入	15,915,500	15,849,000	100.4
(4)他会計補助金	0	0	—
(5)雑収益	43,670	45,936	95.1
<b>4 営業外費用</b>	<b>12,068,498</b>	<b>10,515,266</b>	<b>114.8</b>
(1)支払利息等	2,068,498	2,515,266	82.2
(2)繰延勘定償却	0	0	—
(3)消費税	10,000,000	8,000,000	125.0
<b>経常利益</b>	<b>40,266,293</b>	<b>37,201,043</b>	<b>108.2</b>
<b>5 特別利益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1)固定資産売却益	0	0	—
(2)過年度損益修正益	0	0	—
<b>6 特別損失</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1)固定資産譲渡損	0	0	—
(2)過年度損益修正損	0	0	—
(3)臨時損失	0	0	—
<b>当期純利益</b>	<b>40,266,293</b>	<b>37,201,043</b>	<b>108.2</b>
<b>前期末未処分利益剰余金</b>	<b>1,105,994,844</b>	<b>1,038,732,997</b>	<b>106.5</b>
<b>利益剰余金処分額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>当期末未処分利益剰余金</b>	<b>1,146,261,137</b>	<b>1,075,934,040</b>	<b>106.5</b>

(注1) 長期前受金戻入、減価償却費、資産減耗費、消費税は、年間予算額の1/2である。

(注2) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。

当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

### 工業用水道事業貸借対照表

(平成29年9月30日現在)

資産の部		負債資本の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
<b>固定資産</b>	<b>1,754,679,212</b>	<b>固定負債</b>	<b>223,673,811</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>1,749,950,053</b>	企業債	182,920,918
土地	143,629,252	退職給付引当金	40,752,893
建物	69,385,704	修繕引当金	0
構築物	1,261,227,128	<b>流動負債</b>	<b>30,511,067</b>
機械及び装置	273,126,889	企業債	13,220,795
車両運搬具	52,415	未払金	17,096,982
工具器具及び備品	606,818	前受金	0
建設仮勘定	976,847	その他流動負債	193,290
工事勘定	945,000		
<b>無形固定資産</b>	<b>1,915,444</b>	<b>繰延収益</b>	<b>458,850,984</b>
<b>投資</b>	<b>2,813,715</b>	長期前受金	1,786,619,688
出資金	2,813,715	長期前受金収益化累計額	△ 1,327,768,704
長期貸付金	0	<b>資本金</b>	<b>1,856,538,468</b>
<b>流動資産</b>	<b>2,683,802,840</b>	自己資本金	1,856,538,468
現金預金	2,602,854,512	<b>剰余金</b>	<b>1,868,907,722</b>
未収金	74,201,365	<b>資本剰余金</b>	<b>522,646,585</b>
貸倒引当金(未収金)	0	<b>利益剰余金</b>	<b>1,346,261,137</b>
有価証券	0	減債積立金	0
貯蔵品	2,694,063	建設改良積立金	200,000,000
前払金	4,052,900	当期末未処分利益剰余金	1,146,261,137
短期貸付金	0	その他未処分	
その他流動資産	0	利益剰余金変動額	0
<b>計</b>	<b>4,438,482,052</b>	<b>計</b>	<b>4,438,482,052</b>

(注1) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。

## 平成28年度工業用水道事業の決算の状況

平成28年度末の給水事業所数は、前年度から1所増え51所で、1日当たりの契約水量は前年度に比べて290立方メートル（1.1%）増加し、2万5,974立方メートルとなりました。また、年間の配水量は498万7,870立方メートルで、前年度に比べ1万3,595立方メートル（0.3%）増加しています。

平成28年度の収入は、分担金、退職給付引当金戻入益の皆減等により、前年度に比べて、1,977万円（4.2%）の減少となりました。支出は、減価償却費、企業債利息の減等により、前年度に比べて、1,238万円（3.1%）の減少となりました。

この結果、平成28年度の決算は、給水収益などの収益的収入総額4億5,103万円に対し、給水収益などをもって充てる経費である収益的支出総額は3億8,377万円、差引き6,726万円の純利益となりました。また、平成28年度末の累積黒字（未処分利益剰余金）は11億599万円となりました。

資本的収支においては、建設改良費や企業債償還金等の資本的支出は、7,536万円となりました。この財源として、工事負担金の資本的収入1,550万円で賄い、なお不足する額5,986万円は、損益勘定留保資金等で補てんしました。

## 平成29年度上半期下水道事業の業務の状況

### 1 事業の概況

#### (1) 業務量

区 分	平成29年度上半期	平成28年度上半期	前年比
処理区域面積 (ha)			
西宮処理区	3,109.69	3,109.60	100.0%
武庫川下流処理区	1,123.77	1,117.86	100.5%
武庫川上流処理区	550.91	550.72	100.0%
計	4,784.37	4,778.18	100.1%
処理水量 (m <sup>3</sup> )			
西宮処理区	29,546,970	31,147,290	94.9%
武庫川下流処理区	5,829,645	6,187,450	94.2%
武庫川上流処理区	1,235,678	1,462,994	84.5%
計	36,612,293	38,797,734	94.4%

注 上半期における武庫川下流、上流処理区の処理水量は、流域下水道への流入量とする。

#### (2) 建設

公共下水道整備費で施工している主な工事は、次のとおりです。

1. 公共下水道新設（合流貯留管整備その2）工事
2. 甲子園浜浄化センター1系反応タンク設備改築工事
3. 津門川ポンプ場電気計装設備改築工事

## 2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が43億1,277万円(下水道使用料、雨水処理負担金等)で、これに対する営業費用の49億4,111万円を差引くと6億2,834万円の営業損失となります。これに営業外収益(他会計補助金、長期前受金戻入等)、営業外費用(支払利息等)を加減すると、当期は8億7,667万円の純利益となります。

科目	平成29年度上半期	平成28年度上半期	前年比(%)
<b>1 営業収益</b>	<b>4,312,772,123</b>	<b>4,306,657,276</b>	<b>100.1</b>
(1)下水道使用料	2,950,861,596	2,972,986,826	99.3
(2)雨水処理負担金	1,229,280,000	1,224,334,000	100.4
(3)他会計負担金	113,278,000	107,760,000	105.1
(4)その他の営業収益	19,352,527	1,576,450	1,227.6
<b>2 営業費用</b>	<b>4,941,110,208</b>	<b>4,783,002,002</b>	<b>103.3</b>
(1)管渠費	65,186,763	59,048,014	110.4
(2)ポンプ場費	191,522,134	169,834,441	112.8
(3)処理場費	1,046,691,622	988,942,302	105.8
(4)流域下水道維持管理負担金	384,442,000	405,493,000	94.8
(5)業務費	73,193,688	71,947,273	101.7
(6)総係費	64,645,501	62,729,472	103.1
(7)減価償却費	3,007,002,500	2,993,714,000	100.4
(8)資産減耗費	108,426,000	31,293,500	346.5
<b>営業利益</b>	<b>△ 628,338,085</b>	<b>△ 476,344,726</b>	<b>131.9</b>
<b>3 営業外収益</b>	<b>2,237,708,380</b>	<b>2,272,605,865</b>	<b>98.5</b>
(1)受取利息	369	376	98.1
(2)国庫補助金	0	0	—
(3)他会計補助金	981,144,000	1,031,391,000	95.1
(4)長期前受金戻入	1,253,195,000	1,230,811,500	101.8
(5)雑収益	3,369,011	10,402,989	32.4
<b>4 営業外費用</b>	<b>732,698,998</b>	<b>793,555,911</b>	<b>92.3</b>
(1)支払利息等	682,115,462	766,305,411	89.0
(2)消費税	35,303,000	17,649,000	200.0
(3)雑支出	341,536	0	—
(4)長期前払消費税額償却	14,939,000	9,601,500	155.6
<b>経常利益</b>	<b>876,671,297</b>	<b>1,002,705,228</b>	<b>87.4</b>
<b>5 特別利益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
(1)固定資産売却益	0	0	—
(2)過年度損益修正益	0	0	—
(3)その他特別利益	0	0	—
<b>6 特別損失</b>	<b>0</b>	<b>52,432</b>	<b>0.0</b>
(1)固定資産譲渡損	0	0	—
(2)過年度損益修正損	0	52,432	0.0
(3)減損損失	0	0	—
<b>当期純利益</b>	<b>876,671,297</b>	<b>1,002,652,796</b>	<b>87.4</b>
<b>前期末未処分利益剰余金</b>	<b>1,949,280,581</b>	<b>1,919,582,366</b>	<b>101.5</b>
<b>利益剰余金処分額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>—</b>
<b>当期末未処分利益剰余金</b>	<b>2,825,951,878</b>	<b>2,922,235,162</b>	<b>96.7</b>

(注1) 長期前受金戻入、減価償却費、資産減耗費、消費税、長期前払消費税額償却は年間予算額の1/2である。

(注2) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。

当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

### 下水道事業貸借対照表

(平成29年9月30日現在)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
<b>固定資産</b>	<b>178,600,127,307</b>	<b>固定負債</b>	<b>57,903,402,850</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>174,175,494,076</b>	企業債	57,498,038,438
土地	28,305,168,538	退職給付引当金	256,529,904
建物	3,826,312,526	修繕引当金	148,834,508
構築物	119,196,512,063		
機械及び装置	14,171,718,985	<b>流動負債</b>	<b>4,603,233,684</b>
車両運搬具	4,354,222	企業債	3,242,146,036
工具器具及び備品	11,027,773	未払金	954,979,390
建設仮勘定	7,760,892,333	前受金	1,161,096
工事勘定	899,507,636	賞与引当金	0
<b>無形固定資産</b>	<b>3,499,587,587</b>	一時借入金	368,700,000
<b>投資</b>	<b>925,045,644</b>	その他流動負債	36,247,162
長期前払消費税	551,006,700		
出資金	4,464,500	<b>繰延収益</b>	<b>59,981,082,889</b>
長期貸付金	861,100	長期前受金	85,969,441,008
基金	368,713,344	長期前受金収益化累計額	△ 25,988,358,119
		<b>資本金</b>	<b>35,983,937,576</b>
<b>流動資産</b>	<b>2,087,183,577</b>	自己資本金	35,983,937,576
現金預金	652,199,905		
未収金	839,672,355	<b>剰余金</b>	<b>22,215,653,885</b>
有価証券	0	<b>資本剰余金</b>	<b>18,211,266,721</b>
前払金	595,311,317	<b>利益剰余金</b>	<b>4,004,387,164</b>
短期貸付金	0	当期末未処分利益	2,825,951,878
前払費用	0	剰余金	2,825,951,878
その他流動資産	0	その他未処分	1,178,435,286
		利益剰余金変動額	
<b>計</b>	<b>180,687,310,884</b>	<b>計</b>	<b>180,687,310,884</b>

(注1) 消費税は期末一括税抜処理のため、本表は税込である。



## 平成28年度下水道事業の決算の状況

平成28年度末の処理区域内人口は、48万7,790人で、前年度より167人(0.0%)増加しています。また、処理区域内戸数は23万2,975戸で、前年度より1,861戸(0.8%)増加しました。

年間の処理水量は7,252万2,888立方メートルとなり、前年度より214万4,422立方メートル(2.9%)増加しました。

平成28年度の収入は他会計補助金や長期前受金戻入等の減少により、前年度に比べて1億9,293万円の減収となりました。支出は、委託料などの維持管理費や支払利息等減少により、前年度に比べて、3億7,689万円の減少となりました。

この結果、平成28年度の決算は下水道使用料などの収益的収入総額120億7,438万円に対し、下水道使用料収入などをもって充てる経費である収益的支出総額は108億6,625万円で、差引き12億813万円の純利益となりました。また、平成28年度末の累積黒字(未処分利益剰余金)は31億2,771万円となりました。

資本的収支においては、建設改良費、企業債償還金等の資本的支出が122億7,293万円で、この財源として企業債、国庫補助金、一般会計からの補助金等の資本的収入73億4,109万円を充当し、なお不足する額49億3,184万円は損益勘定留保資金等で補てんしました。